

山城のススメ

市内には、佐竹氏一族に関係する、中世の山城がたくさんあります。特に近年は美和地域で「森と地域の調和を考える会」が中心となって整備を行うなどして、実際に登って見ることができる山城が増えました。

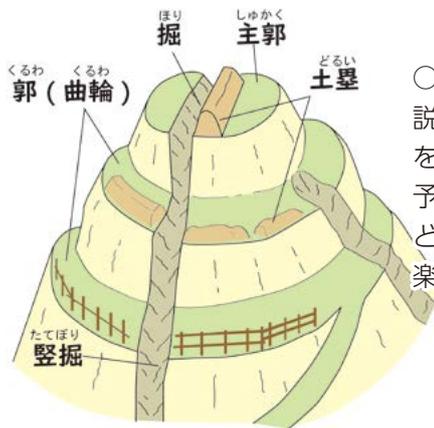
しかし市内の山城は、一般的にイメージするお城とは違い、山肌をそのまま利用して築かれた、もっと古い形態のものです。それが数百年の歳月により森林に埋もれ、一見するとただの山でしかありません。そこで今回は、そのちょっとわかりにくい魅力や、楽しみ方を紹介したいと思います。

山城は、集落を守りやすく攻められ難い急峻な山に築かれています。(平地にあるお城は平城という)

このため、身近な山ではあるけれど、滑落する危険もある、油断のならない場所です。サンダルなどではなく、きちんとした山登りの格好で挑みましょう。



☆山城の基本構造



○まず登り口にある説明板などで全体像を把握しましょう。予備知識があるほど、妄想がはかどり、楽しいです。

○今日に見えるものは、数百年を経た姿です。当時の姿を想像しながら行きましょう。



☆山城を攻める兵士の気持ちになって登ろう!



○城攻めをする兵士の気持ちで登ると、郭や堀がとても計算されて配置されている事が分かります。警戒して進みましょう。

○この時代は、村人たちも皆で立てこもり戦います。様々な攻撃をよけながら頂上を目指しましょう。



☆征服者の気持ち味わおう

○頂上付近は主郭といって、守りの大将が居る最後の砦です。ここを制覇すれば貴方の勝利です。ゆっくりと景色を堪能してください。



☆下るときは、城を守る兵士の気持ちで

○上から見ると、攻めてくる兵士がいかにか丸見えで、狙いやすいようになっていくのが分かります。 (足下には気をつけてね!)



昔からある集落には、たいてい城跡があります。ご先祖様たちが戦ったかもしれない城跡を、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

(歴史民俗資料館 中林 香澄)